





昭和54年度漁協貯蓄目標額表

昭和54年度

(単位：千円)

Table with 5 columns: 区分海区域, 54年3月末貯金, 本年度増加目標額, 55年3月末目標額, 計伸び率. Rows include 棋播海区, 淡路海区, 但馬海区, and 県合計.

漁協貯蓄増強計画

信漁連

7月の漁況と海況

海況

※播磨灘……2～3日の調査では東部水域表層22.5℃で±0, 中～底層21.8℃で半年に較べると+1.5℃と高目。北西部水域では表層23.5℃内外, 中層21.5℃, 底層19.8℃で各層+1.0℃～+2.0℃。南西部水域では各層ほぼ半年並の22.0℃, 20.9℃, 18.0℃を示し、東部・北西部では前月より引き続き+1.5℃内外の高目に経過している。

お断り

大阪湾西部、紀伊水道北部は調査船新旧交替(白鳥丸よりひょうご)のため欠測しました。

漁況(各地)

(註：1日1隻の平均漁獲量は平均単価目, 何隻は操業隻数)

※明石浦……小型底曳網メイトカレイ8キロ@5,250, アマカレイ17キロ@4,500, アナゴ15キロ@1,000, マダコ15キロ@850, エビ15キロ@1,050, 20隻(大阪湾北西部)。

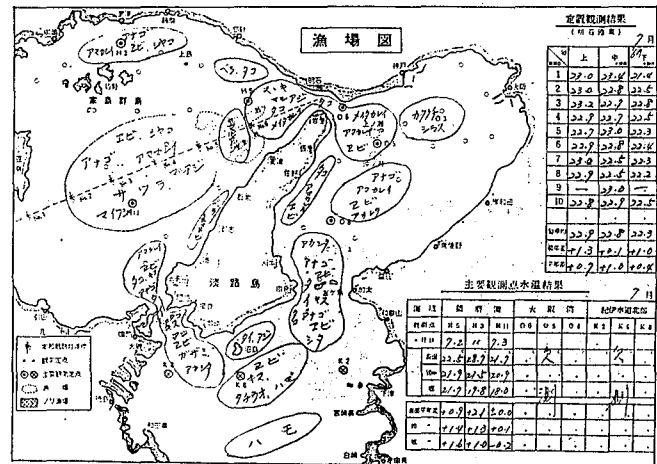
※岩屋……船曳網カタクチシラス400キロ@760, 小型底曳網エビ13キロ@1,800, アナゴ5キロ@800, マダコ4キロ@800, その他10キロ@1,000, 20隻。吾智網マダイ15～20キロ@5,000, 5隻。曳網マルアジ5サロ@2,740, 70隻。各一本釣ススキ6キロ@6,000, 30隻。マダコ5キロ@660, 10隻。延縄アナゴ6キロ@700, メバル10キロ@2,000, 10隻。刺網キス15キロ@1,300, 5隻。

※由良……小型底曳網マダイ12キロ@3,000, 10隻。アナゴ8キロ@740, キス3キロ@1,000, マダコ8キロ@1,000, シラサエビ20キロ@1,300, その他10キロ@300, 50隻。アカシタ20キロ@1,100, 4隻。各刺網キス12キロ@1,200, 6隻。ベラ10キロ@1,340, 3隻。ウシノシタ8キロ@1,100, 4隻。ススキ1キロ@3,500, その他8キロ@700, 10隻。各延縄マダイ5キロ@3,900, アコオ3キロ@5,700, 7隻。アナゴ30キロ@705, 4隻。ハモ25キロ@6,000, 1隻。各一本釣マダイ2キロ@3,500, 50隻, ススキ3キロ@4,000, アジ3キロ@1,610, 15隻。マダコ5キロ@950, 15隻。タコ壺網45キロ@1,080, 3隻。突棒アワビ3キロ@2,800, 5隻。テングサ150キロ@125, 3隻。

※沼島……小型底曳網カワツエビ7キロ@1,800, 小エビ30キロ@700, アナゴ25キロ@850, キス12キロ@550, ガザミ1キロ@2,500, 44隻。一本釣アジ25キロ@1,600, 55隻。延縄ハモ50キロ@5,500, 3隻。磯刺網クルマエビ1キロ@6,000, アカシタ35キロ@1,250, マダイ1キロ@2,500, 26隻。

※福良……小型底曳網シラサエビ1キロ@4,000@2,000, カワツエビ5キロ@2,000, 中エビ18キロ@600, 小エビ7キロ@260, クルマエビ1キロ@7,000, ガザミ1キロ@2,000, アカシタ5キロ@1,000, その他4キロ@800, 26隻(エビ清網)。アオシタ23キロ@2,200, カカエ10キロ@100, メイトカレイ1キロ@2,000, 1隻(板曳網)。吾智網マダイ27キロ@3,450, アジ3キロ@1,625, キス6キロ@1,400, ノウソフカ4キロ@500, 5隻。曳網タチウオ7キロ@1,700, @20キロ@700, 10隻。各一本釣キス3キロ@1,500, シログチ2キロ@700, ベラ2キロ@1,400, 20隻。ウマズラハキ13キロ@900, @250, 2隻。ヒラアジ7キロ@1,750, マルアジ3キロ@1,400, マサバ3キロ@300, 10隻。マダコ8キロ@900@570, 23隻。撒網アジ50キロ@1,775, チヌ1キロ@1,700, 3組。各延縄アナゴ18キロ@600, 2隻。ハモ32キロ@4,750, フカ3キロ@500, 12隻。マダイ5キロ@3,350, チヌ2キロ@1,800, 5隻。各刺網マコカレイ7キロ@1,800, カサゴ1キロ@1,000, コチ1キロ@1,500, マダコ2キロ@900, 8隻。ベラ(青)4キロ@1,300, (赤)17キロ@550, 5隻。タコ壺網240キロ@950, 3組(1組3隻)突棒サルウニ35キロ@260, 15隻。マダコ5キロ@735, アワビ2キロ@2,000, 4隻。

五色町(馬岡支所)……サワラ流し刺網上旬21尾(目廻2,360g)@1,226, 29隻。中旬18尾(目廻2,250g)@1,357, 24隻。下旬6尾(目廻2,140g)@1,572, 14隻。



基本方針

(1)本年度の自主増加目標額を二七億円と設定して期末残高目標額三三〇億円の達成をはかる。ただし、例年に比して低い伸び率(八・八%)の設定は、平残運動の指向を改めて採り入れたものである。実践に当たっては、各組合とも自主目標額を上廻る実績の確保に努める。

特別増強月間

Table with 3 rows: 第1次 (54.7.1 to 54.8.31), 第2次 (54.10.1 to 54.12.31), 第3次 (55.2.1 to 55.3.31).

目標額

Table with 2 columns: 現在(漁協貯蓄高実績), 目標額. Rows for 54.3.31 and 55.3.31, and 期中増加額.

海区域別目標額は上表のとおりです。

貯金も融資もみな漁協。漁家所得一ヶ年分以上を漁協貯金へ。明日を築く漁協貯金。

スローガン

海を守り、漁業を育てる。みんなの貯金はみんなの漁協へ。

具体的実施事項

- 組合段階での実施事項: (1)信用事業体制の整備, (2)信用事業体制の整備と金庫機能の充実, (3)組合員の相談機能の充実, (4)漁業資金の調査及び系統借入の指導, (5)貯蓄推進組織の強化及び座談会の開催, (6)水産庁三〇周年記念の意義と協同組合精神の浸透, (7)二米内達成運動の浸透と漁業経営の指導, (8)婦人部連け強化と生活信漁連階段での実施事項: (1)信用事業推進連絡協議会の開催, (2)信用事業実施研修会の開催, (3)「漁協信用事業体制整備強化運動要綱」による個別指導, (4)「漁協信用事業標準化」を目的とする漁協職員実務研修会の開催, (5)信用事業推進連絡協議会の開催, (6)信用事業実施研修会の開催, (7)「漁協信用事業体制整備強化運動要綱」による個別指導, (8)「漁協信用事業標準化」を目的とする漁協職員実務研修会の開催, (9)水産庁監修の「最新漁業制度重要規程集」が出版されました。戦後の漁業改革として立法された「漁業法」は制定以来三十年を経過しましたが、制法二十四年の「漁業法」制定時から五十四年三月末(昭和五十四年三月末)までに水産庁が都道府県等からの照会に対して、具

新刊紹介

水産庁監修の「最新漁業制度重要規程集」が出版されました。戦後の漁業改革として立法された「漁業法」は制定以来三十年を経過しましたが、制法二十四年の「漁業法」制定時から五十四年三月末(昭和五十四年三月末)までに水産庁が都道府県等からの照会に対して、具





